

ぞうしがやプレーパーク通信 2022.1.23

- ◇日時：2022年1月23（日）午前10時30分～午後3時
- ◇天気：晴れ
- ◇場所：豊島区立雑司が谷公園（芝生広場）
- ◇参加：100人程度
- ◇スタッフ：林、早川（小田）、浜野、佐分、（午前のみ）清永、（午前のみ）高野、（午前のみ）水越
- ◇お手伝い：東京下町紙芝居 稲葉さん他 計3名
- ◇寄贈：カートン製たまごパック（浜野）

◇企画：

「災害時に備え、ポリ袋でごはんを炊こう」：気象条件・コロナ感染状況を考慮し中止
「かきぞめ」、「凧づくり」、「長縄跳び」

◇簡単報告：

- ◆曇りでありあまり気温の上がらない、寒い一日だったが、段ボール工作、木工、秘密基地づくりで楽しく過ごすことができた。
- ◆長縄跳びは、保護者が縄を交代で回しあったり、初めて会った子どもたちが自然に一緒に遊んだりして、交流が始まるきっかけとして、よかった。今回は私物を利用したが、プレーパークでも備品として購入する。
- ◆凧はレジ袋に絵をかきタコ糸をつける簡単なもの。作ったタコをもって走りまわるので、密が避けられてよかった。
- ◆書初めは、ちょうどおせち用の黒と金の容器があり、お正月らしい雰囲気が出ていた。
- ◆小2女子がティピーを組み立て自分のスペースにしていた。そこへやって来た、幼稚園児男子。入れて欲しかったが、男子禁制で入れてもらえず。プレーリーダーの「自分のを作ってみたら」の声に、自分で木材を移動させ、布を巻いて、独自のスペースを作成していた。やってみたい、が実現できた。最後には、招待状を拾って持ってきた幼稚園児男子を、小2女子がテントに入れてあげていた。
- ◆火の使用は、乾燥注意報が10日以上続いていること、コロナ感染状況がよくないことから、今回は見送った。炊飯の準備をして参加した方が少なくとも2組いた。
- ◆道具は、木工の道具はフェンス沿いに、段ボール工作の道具は手前に台を置きその上に分かりやすく並べた。

◇その他：

- ◆火の使用は、気象条件（乾燥・強風）やコロナ感染状況を鑑みると、実際には今年度の実現は難しいかもしれない。消防・区役所の許可を得ておいて、あまり多きな告知はせずに、条件があった時に暖を取る程度に実施するのが現実的かもしれない。
- ◆引き続き、冬場の強風の日は、多少風があっても遊べる遊びや、体を動かす遊びの仕掛けを考える必要がある。

◇次回（2月27日）に向けて：

- ◆行事保険申し込み（2月分）、段ボール収集、長縄購入